

一般質問 議:議員/理:理事者

● シニアカー購入への助成について
● 道の駅「恐竜渓谷かつやま」周辺の駐車場について

その他の質問
・古いエアコン使用世帯の買い替えへの助成について・再編する3中学校の余剰になる備品について・人数が減少する市内の小学校の今後の方向性について

市政会 下道恵子 議員



議 高齢になり車の免許返納後の移動手段においてデマンドバスを利用する方法もあるが、シニアカーはとても便利な乗り物だと考える。シニアカー購入への助成を検討できないか市の考えを伺う。

理 シニアカーは高齢者の移動を助け、閉じこもりを防止する効果が期待できるが、認知機能等が低下した方の利用は事故等の危険が伴う可能性があり、現時点で助成制度を検討する予定はない。高齢者の移動手段として、令和9年度を目標に市内全域でのコミュニティバスのフルデマンド運行を進めている。電話予約で最寄りのバス停から区域内のバス停まで移動できるため、近距離でも遠慮なく利用してほしいと考えている。

議 この夏の道の駅「恐竜渓谷かつやま」周辺の駐車場はほとんど毎日満車だった。青果市場の完成後はもっと混み合う事が想像される。恐竜博物館までのシャトルバスの発着場所のことも頭におき、ある程度市の駐車場として確保しておくことも必要だと考えるが市の考えを伺う。

理 道の駅に隣接する「恐竜渓谷かつやまエリア」は、民間資本による活用を見越し整備を進めてきた。計画どおり売却を推進し、地域経済の活性化と賑わい創出に努めたい。

道の駅混雑時の駐車場不足については、利用状況を分析し、将来の対策を研究する。

また、恐竜博物館混雑時のパークアンドライド用駐車場については、利便性や効率性を踏まえ、スキージャム勝山駐車場の利用を検討している。実際に混雑が予想される日にスキージャム勝山を臨時駐車場として運用する計画をしており、効果や課題を検証する。

一般質問 議:議員/理:理事者

● 勝山中学校の給食について

その他の質問
・今後の水道事業について
・多文化共生について

浦上雄次 議員



議 令和9年に開校予定の勝山中学校では給食室が設置され、自校式給食が実現することになる。出来たての温かい給食や、地産地消に期待する声があるが、生産者との連携強化や、食育、学習にも繋げながら、子どもたちにとっても誇れる給食であってほしいと願う。「日本一の給食」を目指すために、具体的な取り組みや今後のビジョンがあれば伺う。

理 市には「勝山やまのサーモン」をはじめ数多くの地元食材があり、一部は市内小学校の給食で提供し好評を得ている。地産地消の推進には地元食材の安定供給が課題であり、生産者やJA等との連携を一層強化し、計画的な生産・供給体制の構築に努めていく。

また給食は、食育の重要な実践の場でもある。毎月19日を「ふるさと給食の日」とし、地場産食材や郷土料理を取り入れた給食を提供している。家庭科等の授業では、献立づくりや調理実習を通じて食の大切さを学び、生産者の思いに触れ、感謝の心を育んでいる。勝山中学校で自校給食が始まれば、生徒がメニュー考案に参加する企画など、より発展的な食育プログラムの実現もできると考えている。

市が誇る特色ある給食の取り組みの一つ、「生産者の顔の見える米」は、給食で使用する米を市内農家から直接買い上げ、児童生徒が生産者を知ることができるというもの。また勝山市産の食材を使った特別メニューや地元ブランド食材に日頃から親しむことで、地場産物への愛着が深まり、将来的に地域の農業や漁業を応援する消費者になっていくことが期待される。

これらの取り組みを積極的に周知し、毎日の給食がふるさと勝山への誇りと感謝を育む時間となるよう、創意工夫を凝らしていく。